

保護者の皆様

行方市立麻生中学校長 栗原 秀雄

令和元年度 麻生中学校「学校をよりよくするためのアンケート」(生徒・保護者)の結果について

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日ごろより、本校への教育活動にご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

標記の件、下記のとおり、ご報告いたします。保護者の皆様の貴重なご意見や評価を基に、来年度の教育計画に生かしてまいりますので、よろしくお願いたします。

記

1 学校評価アンケートの結果

	項目		A	B	C	D
			とても思う	そう思う	あまり思わない	思わない
1	毎日、家庭学習に取り組んでいますか。	R I	32.6	50.7	14.8	1.9
		H 30	30.5	47.0	19.5	3.0
2	読書(家や学校)をしていますか。	R I	13.0	36.3	35.9	14.8
		H 30	19.0	30.0	38.5	12.5
3	学校での決まりを守って生活していますか。	R I	40.4	55.9	3.7	0.0
		H 30	57.0	39.5	3.5	0.0
4	あいさつや言葉遣いに気をつけて生活していますか。	R I	24.4	61.1	14.1	0.4
		H 30	43.0	51.0	5.0	1.0
5	友だちを大切に、励まし合っていますか。	R I	37.8	58.1	4.1	0.0
		H 30	46.0	50.0	4.0	0.0
6	授業が分かると感じていますか。	R I	23.9	62.1	13.0	1.0
		H 30	23.0	60.0	16.0	1.0
7	学校が楽しいと感じていますか。	R I	34.6	57.9	7.4	1.1
		H 30	34.5	53.5	11.0	1.0
8	先生は、授業での学習課題を工夫していますか。	R I	13.7	68.9	15.9	1.5
		H 30				
9	先生は、生徒の個性や人権を大切にしながら指導・支援していますか。	R I	29.4	58.4	10.4	1.8
		H 30	30.0	56.5	12.5	1.0
10	学校は、いじめのない学校になるよう努力していますか。	R I	29.0	63.3	6.3	1.4
		H 30	39.0	50.5	9.5	1.0
11	学校は、体罰のない学校になるよう努力していますか。	R I	41.6	55.0	3.0	0.4
		H 30	46.0	49.5	3.5	1.0
12	学校は、生徒や保護者の相談に耳を傾けていますか。	R I	23.0	67.0	8.5	1.5
		H 30	32.5	53.0	13.0	1.5
13	学校は、生徒が中心となった学校行事となるよう努めていますか。	R I	40.1	55.9	4.0	0.0
		H 30	51.0	45.0	4.0	0.0
14	学校は、生徒がケガや病気をしたときの対応を適切にしていますか。 (応急の処置、保護者への連絡、病完への搬送等)	R I	42.5	54.4	3.1	0.0
		H 30	49.0	47.5	3.5	0.0
15	学校は、生徒が自ら健康や安全を守るための力を高めていくことに努めていますか。 (交通安全対策・不審者対策・地震や火災に関する対策等)	R I	40.5	55.2	4.3	0.0
		H 30	49.0	48.0	3.0	0.0
16	学校は、生徒の健全な成長を図るために部活動の指導を適切に行っていますか。	R I	38.5	57.9	3.6	0.0
		H 30	35.5	46.5	15.0	3.0
17	学校は、生徒が地域行事に参加したり地域について学んだりできるよう、努めていますか。(1学年職業人に学ぶ会、2学年職場体験学習、地域行事など)	R I	22.3	73.3	4.4	0.0
		H 30	36.0	55.0	8.0	1.0
18	麻生中学校に入学して(入学させて)よかったと思っていますか。	R I	40.4	56.6	2.2	0.8
		H 30	44.5	50.5	4.0	1.0
19	学校は、教育方針や教育活動、生徒の様子を分かりやすく伝えていますか。 (ホームページ・学校だより・学年だより・学級だより 等)	R I	31.5	64.4	4.1	0.0
		H 30	33.0	51.5	15.5	0.0
20	家庭では、SNS等について家庭でのルールを作り、取り組んでいますか。	R I	17.4	62.6	17.8	2.2
		H 30	20.0	68.0	11.0	1.0

令和元年度麻生中学校「学校をよりよくするためのアンケート」は、生徒と保護者が話し合いご回答いただいた結果です。平成30年度麻生中学校学校をよりよくするためのアンケート(保護者)の結果については、生徒、保護者が個別にご回答いただきました。そこで、平成30年度の結果については、生徒・保護者の数値結果の平均値を掲載させていただきました。ご了承くださいませよう願いたします。

## 2 学校評価アンケートの結果における主な成果と課題

### (1) 主な成果

- ・学校でのきまりの遵守に関する項目A+Bの割合(96.3%)については、麻生中学校生徒の強みとして、日常生活の中でルールやきまりを守ることへの意識が高いことがあげられます。次年度においても、「麻生中学校ABCD+」をスローガンに掲げ、全校体制で規範意識の高揚を図ってまいります。
- ・友だちを大切に、励まし合う事に関する項目A+Bの割合(95.9%)については、学級経営や学校行事等における「居場所づくり」「絆づくり」について一定の成果があったと考えられます。次年度も体育祭、文化祭等の学校行事、いじめ防止全校集会、人権全校集会の充実とともに、望ましい学年・学級集団活動の形成に努めてまいります。
- ・学校における体罰防止に関する項目A+Bの割合(96.6%)については、学校長指導資料の活用による研修の実施、コンプライアンス便りを活用したコンプライアンス研修の実施等が一定の成果につながったと考えられます。教職員の服務規律の確保は、信頼される学校づくりのための根幹をなすものです。麻生中学校コンプライアンス委員会を中心として、計画的・継続的にコンプライアンス研修を実施し、コンプライアンス意識の高揚を図ってまいります。
- ・生徒のケガや病気への対応に関する項目A+Bの割合(96.9%)については、救急対応に係る研修の実施、保健安全教育の推進等が一定の成果を生んだ要因かと考えられます。次年度も、計画的・継続的に防災・防犯・安全教育の充実を努めるとともに、救急対応に関する研修の充実を図り、生徒の命を守る、安全確保を第一義として学校運営を行ってまいります。

### (2) 主な課題

- ・学校や家庭での読書の推進に関する項目A+Bの割合(49.3%)については、改善課題と考えます。次年度に向け、更に、読書活動を推進していくために、読書の目的性や必要感を高めていくとともに、朝の読書の時間の充実を図ってまいります。
- ・わかる授業に関する項目Aの割合(23.9%)については、改善課題と考えます。今年度は、茨城大学教授や助教を招聘し校内研究授業・研究協議(年10回)を実施し、授業改善を図ってまいりました。次年度に向け、更に、生徒にとって分かる授業が展開できるよう、校内授業研究、教員評価授業の充実をとおして「麻生中学校授業スタイル」の定着を図ってまいります。
- ・「学校は、生徒や保護者の相談に耳を傾けている」に関する項目Aの割合(23.0%)は改善課題と考えます。多様な機会(2者面談、懇談会等)において、保護者の皆様からの声を真摯に受け止め、学校運営の充実や生徒の健全育成につなげていけるよう努めてまいります。
- ・家庭での「SNS利用のためのルールづくり」に関する項目A+Bの割合(80%)は継続的改善課題と考えます。以下の麻生中ルールの徹底向け、客家庭独自の「家庭でのルールづくり」の推進をより一層呼びかけ、保護者の皆様と連携しながら生徒の健全育成を図っていきます。
  - ①スマホは午後10時以降は使用せず、監督責任者である保護者へ返却すること
  - ②SNS、インターネットは、保護者と同室において使用すること
  - ③フィルタリング機能の活用を図ること

## 3 学校評価(保護者)アンケートの結果(記述式)における主な成果と課題

### (1) 主な成果

- ・「教師の生徒へのかかわり」「学校行事」等、学校教育活動や教職員への肯定的なご意見がありました。今後も生徒・保護者の皆様の期待に応えられるよう学校教育活動の推進・充実に努めてまいります。

### (2) 主な課題

- ・中間テストの実施に内容、方法についてご意見を賜りました。協議した結果、中間テストは、実施せず、教育出版社著作の実力テストを活用したり、単元末のテストを実施したりし、定期的に学習状況を把握し、観点別学習評価や評定につなげていくこととなりました。
- ・冬季合同練習の内容や方法についてご意見を賜りました。協議した結果、内容や方法について改善を図り部活動運営の充実につなげてまいります。
- ・通知表記載の内容についてご意見を賜りました。協議した結果、道徳授業の工夫改善に努めるとともに、生徒一人一人の道徳的諸価値理解に基づき、成長変容を的確に見とり、道徳の評価をしていくこととなりました。通常教科に関しましては、日ごろの面談や定期的な面談を通して伝達いたします。
- ・部活動経営、運営の在り方についてご意見を賜りました。定期的な部活動顧問会議や部活動の充実に向けた外部講師による講演等を実施し、効率的・効果的な部活動運営の工夫改善を図ってまいります。生徒にとって、見通しある部活動計画の立案、部活動の効果が実感できる練習内容方法の工夫改善を図ってまいります。
- ・家庭訪問の実施については、協議した結果、自宅確認を行うこととなりました。詳細については、後日お伝えいたします。
- ・その他、学校行事(体育祭、文化祭)の内容や方法、学習指導の工夫改善、教職員の生徒へのかかわり方、交通安全指導の在り方など建設的なご意見をいただきました。頂戴した貴重なご意見は、職員会議、職員研修にて情報共有を図りました。また、全教職員から意見や提案を集約し、学校運営改善検討委員会において、協議しました。「働き方改革、業務改善」という視点を持ちながら、「効率的・効果的、持続可能な教育活動にしていくためには、どうすればよいのか?」「生徒の成長を図るための教育活動とは?」という問いについて、校長を議長として、教頭、教務主任、生徒指導主事、各学年の代表者(2名)が協議しました。多様な意見が出され、活発な議論となりました。なかなか結論が出ない、テーマもありました。保護者の皆様同様に、教職員も多様な意見をもっています。今後も、保護者の皆様からいただいたご意見に基づき一つ一つ、丁寧に議論を交わしながら、よりよい学校運営につなげてまいります。

よりよい学校づくりに向けて、保護者の皆様と協働体制を構築し、学校運営を図ってまいります。今後ともに、ご理解とご支援くださいますようお願いいたします。